

NPO法人ゆう副理事長

萩野ます美

朝の一筆

大学生の娘が3カ月前にはじめたばかりのアルバイトを辞めたいと言いだした。どうしても我慢できない



上司がいるらしい。どんな対応をされたのか聞いてみると、なるほどそれはパワハラかも、と思うような理不尽な言動。とは言え、たった3カ月で仕事を辞めるなんていう項目は私の辞書にはない。「考える時間もらっていい？」と娘に言っ、ちよっとジタバタしてみる。

仕事で部下を持つようになる、判断を求められることも多くなる。即決即断がカッコ

イイと思っていた時期もあるが、迷ったらやはり良く

しっかり考えてく

れている、というのとは、子どもにとっては安心なことらしい。

冷静になって考えてみたら、はた

私の辞書に新しいページ

考えた方がいい。そう思ってから

娘に対しても「考えさせて」と言えるようになった。これは思いの外いい結果を生んでいるように感じる。

母親が自分の事を

非はともかく、今は社会人として

マナーを守った辞め方を教えるいいチャンスじゃないか。そう考え直し、

まずは店長にアポを取り、退職したい旨を伝え、退職日等について相談するようアドバイスした。

かくして、店長との面談を終えた

娘は晴れ晴れとした顔で帰って来た。パワハラ上司については以前から問題になっていたらしい。店長もパートさんも娘の

真面目な仕事を評価してくれていたとのこと。シフトの関係で、今月いっぱい働いてほしいと言われたから何とか最後まで頑張るよ」と娘。次のバイト探しにも意欲的。ピツクリ。他人からの評価は人を元気にする。3カ月でバイトを辞めるのも悪いことばかりじゃないんだな。

自分の価値観が全てではない。私の辞書に新しいページが増えた。娘に感謝。